

マロニエ

福島市立平野中学校 学校だより No.15

文責：校長 佐藤 裕子



ウェルビーイング

Well-being の実現。

Well-being とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、「幸福」と訳されます。WHO(世界保健機関)憲章には、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることを言う」とあります。

福島県教育委員会「第7次福島県総合教育計画」にも、子供たち一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せである「**Well-being**」を実現していくために、社会の課題に主体的に向き合い、多様な他者と協働して解決に向かう力を育てていくことが述べられています。12月18日実施の芸術鑑賞教室(2年対象)講師の遠藤元気さんにお会いし、「**Well-being**」の実現された姿とは、このような生き方なのかもしれない、と思いました。遠藤さん、素敵な演奏をありがとうございました。(詳細は HP をご覧ください。)



遠藤元気さん(36歳)は、川俣町山木屋出身の和太鼓奏者です。10歳から太鼓を始め、中学生から山木屋太鼓に所属し、震災をきっかけに、2013年ソロの和太鼓奏者として独立、国内外でのパフォーマンスやイベント等に多数出演なさっています。

「福島にとって必要な太鼓打ちになりたい、太鼓を通じてたくさんの人と出会いたい、人とつながりたい、故郷・福島の誇りをもって発信していきたい」と、清々しく子供たちに語りかけ、素晴らしい演奏を披露してくださいました。やりたいことを懸命にやっている人というのは、このような輝きを放つのだ…と、いろいろな意味で感動しました。

平中生にも自分の大好きなこと、自分の人生をかけることができるようなものを見つけて **Well-being** に生きてほしい…と思いました。

